

第17回全日本中学生男女ソフトボール大会に協賛

ギラギラと照りつける太陽の下、おもちパワーが全開！

2017(平成29)年8月11日(金)～14日(月)、大阪市此花区の舞洲運動広場(セレッソスポーツパーク舞洲)を舞台に、「第17回全日本中学生男女ソフトボール大会」が開催されました。全国餅工業協同組合では、スポーツ時の栄養補給に適した包装餅の消費拡大を目指して、選手やご家族・大会関係者に向けて、国内産水稲もち米100%使用の包装餅のプロモーションを展開しました。



大会には、女子48チーム、男子16チームが参加。日本ソフトボール協会が主催するこの「全日本中学生男女ソフトボール大会」は学校単位だけではなくクラブチームにも門戸が開かれているため、全国各地から強豪チームや常連クラブが集結する大会として知られています。

試合に先立って「山の日」にあたる8月11日(金・祝)には、監督会議が開催され、その席上で全餅工から参加全チームに登録選手人数分の切り餅セットを無償提供することを発表。

さらに当日開かれた開会式では、全参加チームの選手や家族、大会関係者を前に、「スポーツとお餅の深いつながり」を紹介し「スポーツ時の栄養補給やカーボローディングにはお餅がとても適した食べ物であることや、国内産水稲もち米100%使用の包装餅の魅力」をアナウンスしました。

会場敷地内には全餅工の特設ブースが設置され、「10月10日はおもちの日」の幟がはためく中で、応援に訪れた家族を中心に切り餅セット(カーボローディング漫画入り切り餅パック、リーフレット等)を配布。

また、出場チームへの切り餅セットの配布会場として、訪れた各チームの代表者に、健闘を祈りながら箱詰めの切り餅セットを贈呈させて頂きました。



この大会に全餅工が協賛するのは今年で5年目となり、常連チームの選手には先輩たちから“なにやらおもちの TENT と可愛い大明神がいる！”と伝え聞いていた人もいました。開会式を待つ選手たちも気軽に特設ブースに立ち寄って、「おもち大明神」のおみくじにチャレンジしたり、記念撮影をする姿が数多く見られました。



運試しのおみくじで大吉が出れば切り餅セットをプレゼント。そして惜しくも外れた方でも、お餅大明神と一緒に記念撮影をしてSNSに投稿してくれた方には切り餅セットを進呈するシステムを採用。ツイッター等のSNSでは「おもちの日」のつぶやきがあり、「10月10日はおもちの日」であることが会場内だけでなく、インターネットを通じてジワジワと拡散されていることが見受けられます。



Twitter投稿実例(プライバシー保護のため一部加工しています)

大会は8月14日(月)に無事幕を閉じ、女子では「岐阜NEXUS」が、男子では「オール鹿児島JHS」が共に初優勝を果たしました。

全餅工では、今後もスポーツ振興とプロモーション活動を通じて、「10月10日はおもちの日」であることや、「国内産水稲もち米100%使用の包装餅」の魅力を、より多くの方々に向けて一層アピールしてまいります。

